
生活道路の交通安全対策

【静岡市清水区入江地区】

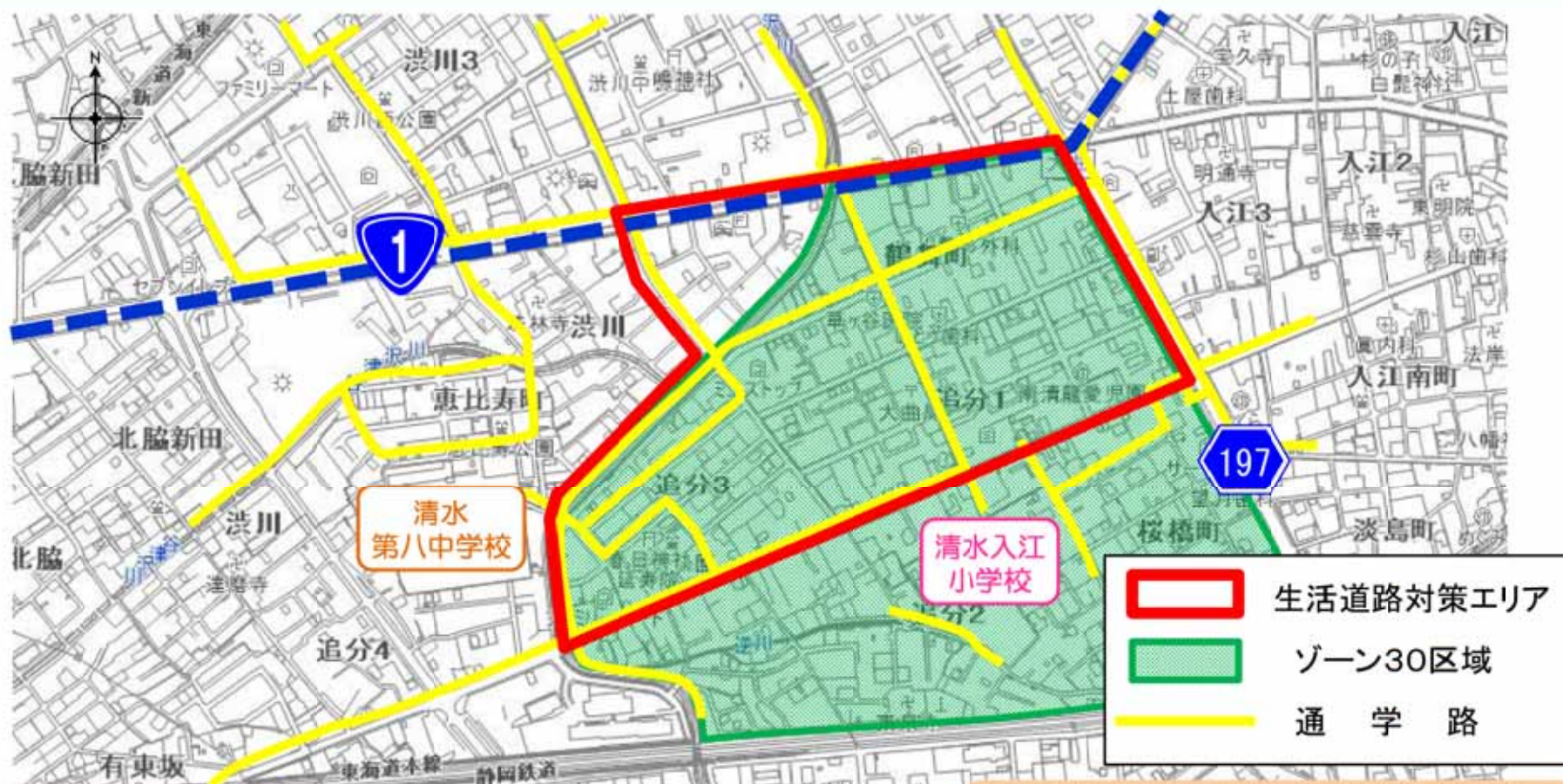


静岡市建設局道路部道路保全課
交通安全施設係

- 1. 入江地区生活道路安全対策協議会について**
- 2. 平成29年度の実施内容について**

1. 入江地区生活道路安全対策協議会について

入江地区生活道路対策エリア



入江地区の特徴

- エリア内で事故発生件数が多い(3年間で66件)
- 幹線道路((一)入江富士見線、国道1号)に囲まれている
- エリア内がゾーン30区域と重なっている
- 小学校、中学校が隣接しており、通学路が存在する

国土交通省 静岡国道事務所と協働で静岡県内でのモデル地区として推進

入江地区生活道路安全対策協議会

地域住民と関係機関で協議会を設立（平成28年度）



■協議会メンバー構成

●地域のみなさん

- ・入江地区連合自治会長
- ・自治会：鶴舞町、追分1丁目、追分3丁目、
渋川（南）
- ・入江地区交通安全会
- オブザーバー：市議会議員、その他地区自治会長

●学校

- ・清水入江小学校
- ・清水入江小学校PTA
- ・清水第八中学校
- ・清水第八中学校PTA

●警察

- ・静岡県警察 清水警察署

●静岡市

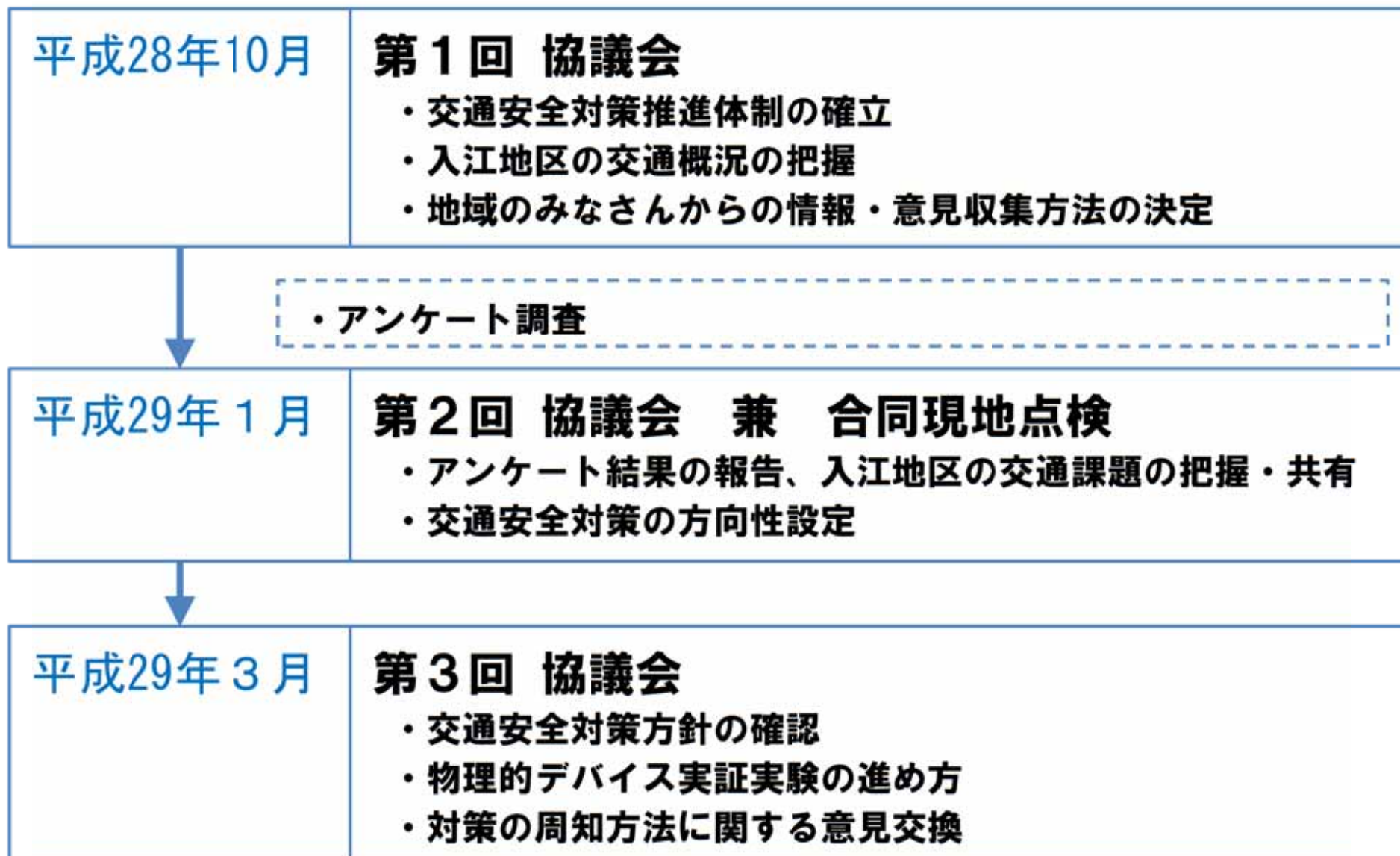
- ・学校教育課、生活安心安全課、清水区地域総務課、
道路保全課、清水道路整備課

●国土交通省

- ・国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所

入江地区生活道路安全対策協議会

協議会で課題点の抽出・対策内容の検討を実施



入江地区生活道路安全対策協議会 [第1回]

ETC2.0から得られた情報の確認

時速30kmを上回っている区間



急ブレーキが発生する区間



参加者からの意見



協議会の様子

[交差点]

- ・一時停止を守らない
- ・横断歩道で車が停止しない
- ・見通しが悪い
- ・右左折車が横断者に衝突
- ・信号無視や変わり目に急ぐ

[単路]

- ・通過車両の速度が速い
- ・すれ違い時に歩車接近
- ・歩道が狭いため車道を通行

[抜け道]

- ・抜け道として地区内へ進入

[その他]

- ・信号待ちたまり空間が狭い
- ・歩行者への注意散漫

抜け道として利用されている主な経路



入江地区生活道路安全対策協議会 [アンケート]

道路を利用する地域の方にアンケート調査を実施

配布先	回収数	内容	備考
地域住民 (10自治会)	1,277	○徒歩や自転車で通行しているときのヒヤリハット体験・場所 ○入江地区内を走行する自動車に対する印象（速度や抜け道利用など）	回収率50% (配布数2,533)
小学校 (5, 6年生)	49	○車とぶつかりそうになって「危ない」と思った場所（自身の体験・目撃）	危険な状況に遭遇した生徒のみ
中学校 (2年生)	104	○車とぶつかりそうになって「危ない」と思った場所（自身の体験・目撃）	
タクシー協会	24	○入江地区内を自動車で走行する際のヒヤリハット体験・場所 ○入江地区内を走行する際の経路	

地域住民のアンケート回収率は**50%**



交通安全に対する意識が高い！！

入江地区生活道路安全対策協議会 [第2回]

アンケート結果の報告



入江地区生活道路安全対策協議会 [第2回]

合同現地点検の実施

合同現地点検



これまでの意見やアンケート調査を基に
現地で状況を確認

グループワーク



合同点検で確認した状況から
グループワークで課題点と対策案を検討

2. 平成29年度の実施内容について

平成29年度実施内容

H28年度の成果から短期対策・実証実験の実施



実証実験による検証

仮設ハンプの設置(9/13~26)



短期対策の実施

センターライン消去+グリーンベルト設置



ゾーン30の強調



今後の予定

実証実験の成果により、本格設置に向け検討を実施

短期対策の実施

- ・センターライン消去＋グリーンベルト設置
- ・ゾーン30の強調

ハンプの本格設置を検討

- ・実証実験について、調査結果やアンケート結果を「入江地区生活道路対策協議会」で報告
- ・結果が良好かつ協議会での承認が得られれば、**本格設置に向けた検討を実施**する

ハンプ本格設置への期待と課題

期待すること

- ・速度抑制による、**事故発生件数に削減**
- ・モデル地区として効果が得られれば、今後**市内での水平展開**が可能

課題

- ・仮設ハンプ(二次製品)は維持管理上、交差点への本格設置には不向き
- ・アスファルト舗装等でサイン曲線の精度がどこまで求められるか